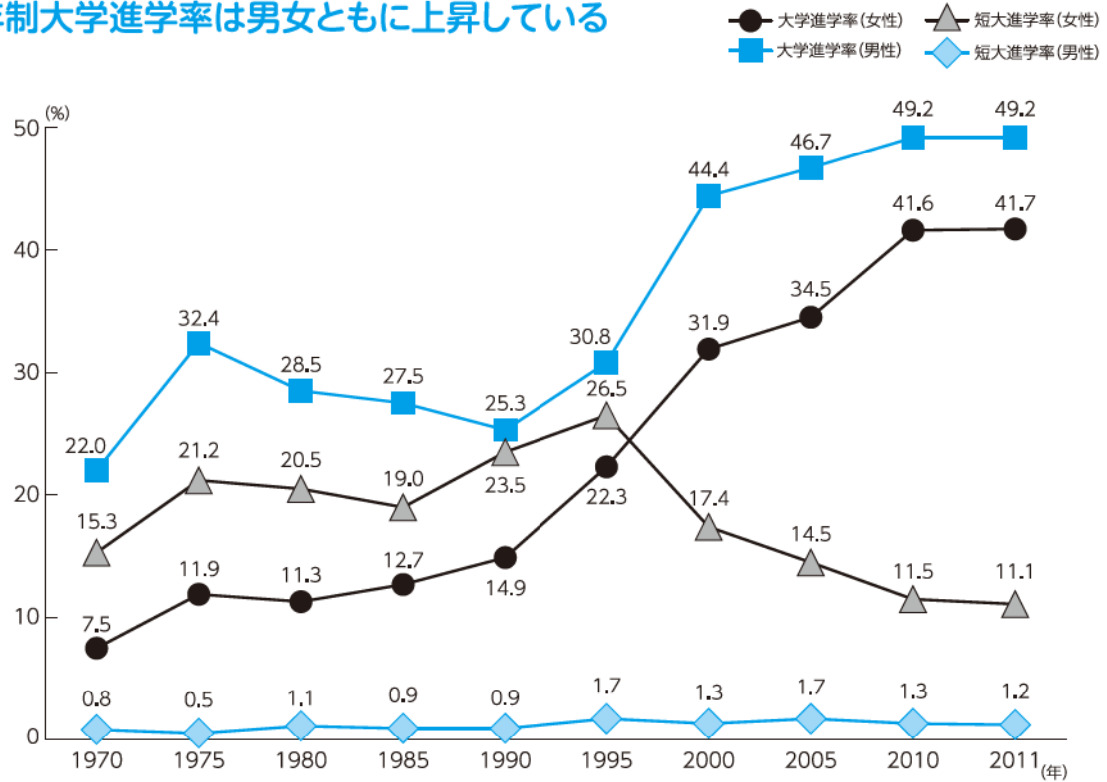


◆ 第三章 教育と学習 ◆

②③ 大学、短期大学進学率の推移(三重県)

四年制大学進学率は男女ともに上昇している



全国的に女性の四年制大学(学部)への進学率は上昇を続け高学歴化が進んでいます。

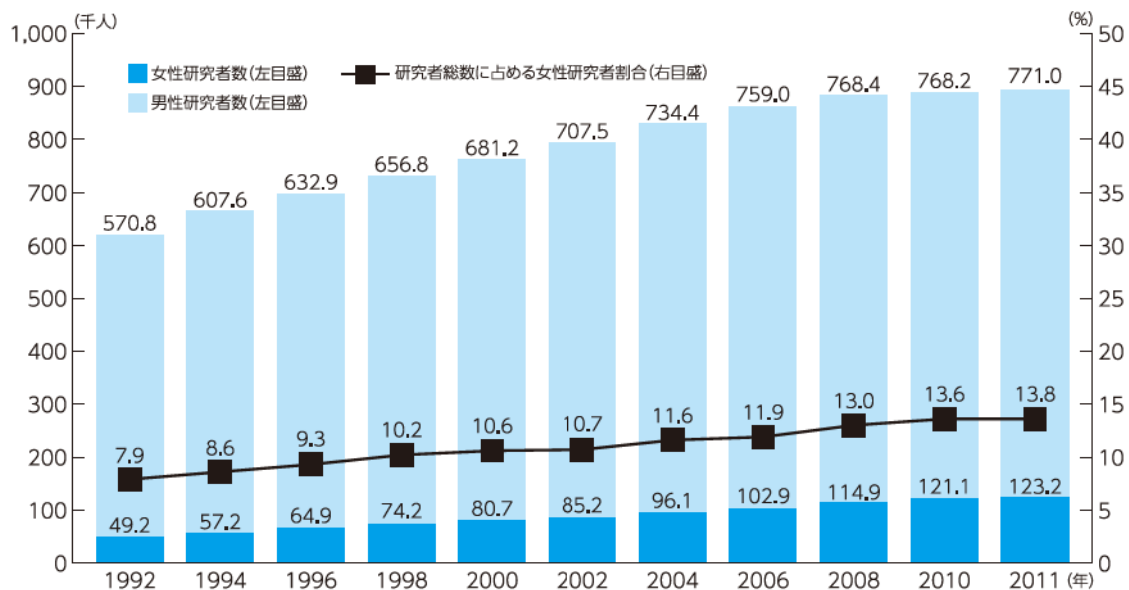
②④ 性、専攻分野別にみた学生数、男女割合(全国、2011年)

(単位:人・%)

	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 【医学・歯学】	保健 【医学・歯学以外】	商船	家政	教育	芸術	その他
女性	255,049 (66.2)	287,179 (32.7)	20,980 (25.9)	44,184 (11.2)	31,668 (41.8)	21,851 (33.3)	135,423 (66.0)	0	62,536 (90.0)	102,137 (59.0)	51,433 (71.4)	81,843 (48.6)
男性	130,219 (33.8)	591,994 (67.3)	59,980 (74.1)	350,290 (88.8)	44,102 (58.2)	43,733 (66.7)	69,779 (34.0)	0	6,967 (10.0)	70,834 (41.0)	20,640 (28.6)	86,528 (51.4)

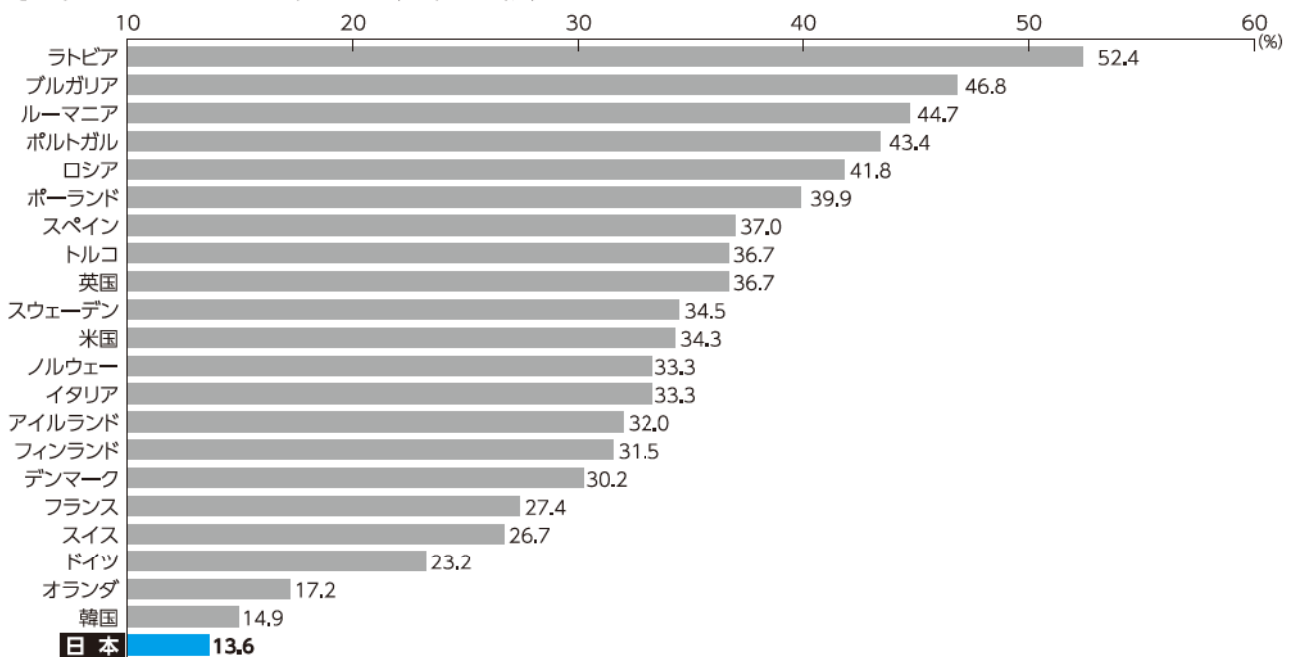
女子高校生が進学先に理工系を選択しない要因のひとつには、現在、女性研究者の数が少なく、活躍する場所も限られているために、ロールモデルや職業をイメージとして描きにくくなっていることがあげられています。国では2006年度から女子学生の科学分野への進路選択を支援する事業等を行っています。

㊸女性研究者数および研究者に占める女性割合の推移(全国)



女性研究者が少ない理由の上位として、第1位「家庭と仕事の両立が困難」、第2位「育児期間後の復帰が困難」第3位「業績評価において育児・介護等に対する配慮がない」第4位「評価者に男性を優先する意識がある」第5位「職場環境」等があげられます。

㊸研究者に占める女性割合(国際比較)



三重大学では、2008年度から3年間、文部科学省の「女性研究者支援モデル育成事業」として、「パールの輝きで理系女性が三重を元気に」というプロジェクトを実施。女性研究者の増加と環境整備を目的に、県内6つの教育研究機関と連携して取り組んできました。さまざまな取組の結果、7連携機関の女性研究者数は、2007年には51名のところ、事業最終年度の2010年度末(11年4月1日採用を含む)には80名を超えるまでに増えました。現在、女性研究者支援は、三重大学男女共同参画推進室に引き継がれ、継続して取り組まれています。